研究課題ID319

成果検討分科会 伊藤成朗

April 17, 2025, 16:04 +0900

# 成果概要

1. 日バングラ関係史[[1]](#footnote-20): 序.要約、独立(1.日, 2.バ)、3.経済関係、4.ODA、5.NGO、人材育成(6.日, 7.バ)、8.新たな国際情勢、9.和文バングラデシュ研究目録
2. (おそらく)非研究者を含む執筆陣

# 検討者指摘概要

## 各項目の評価

項目 評価段階 日1 日2 英1 英2  
「総論」（として位置づけられる章）において、問題意識または仮説が明確に提示されているか。 提示されている ○  
概ね提示されている ○ ○  
あまり提示されていない ○  
提示されていない  
該当なし  
総論で提示された問題意識が各章で共有されているか。 共有されている ○  
概ね共有されている ○  
あまり共有されていない ○ ○  
共有されていない  
該当なし  
論旨は明確か。 明確である ○  
概ね明確である ○  
あまり明確でない ○ ○  
明確でない  
該当なし  
先行研究について明確な言及がなされているか。 なされている ○ ○  
概ねなされている ○  
あまりなされていない ○  
なされていない  
該当なし  
新たな知見が得られるか。 得られる ○  
概ね得られる ○ ○ ○  
あまり得られない  
得られない  
該当なし  
各章ごとの長さについて バランスが良い ○  
概ねバランスが良い ○  
あまりバランスが良くない ○  
バランスが良くない ○  
該当なし  
文章表現について（各章の書き方、明快さの問題も含む） 読みやすい  
概ね読みやすい ○  
あまり読みやすくない ○ ○  
読みやすくない ○  
該当なし

Table: 各項目の評価

## 講評、個別指摘事項

1. 類書はない、存在価値あり[[2]](#footnote-23)
2. Research questionへの疑問
   1. 前提とする認識は正しいか?[[3]](#footnote-24)

|  |
| --- |
| **good relationship?**  The book also assumes that the relationship between the two countries has always been “good.” While this is likely true, interestingly, reports (Chapter 8) suggest that Japan’s ranking as a country with a favorable impression is not as high as that of countries with one or more periods of conflict (such as the USA and China) and is instead similar to that of India. |

1. 扱っているのはWhyではなくHowでは?[[4]](#footnote-25)

|  |
| --- |
| **research question, intro (p.1)**  50 years of diplomatic relations…Japan and Bangladesh have always maintained good relations…it is worth considering **why this has been possible,** given the fact that Japan is the only major diplomatic partner with which Bangladesh has consistently maintained good relations… |

1. 本書の回答・解釈は何か[[5]](#footnote-26)

|  |
| --- |
| **overall answer?**  序章  please clearly discuss the answers to the overall findings. |

1. 内容として全体にまとまりがない[[6]](#footnote-27)
   * ただし、全体として何かを示すという方向性の指摘はない
   * 各章を改稿すべきという指摘のみ
   * 削除も視野に検討: 9章
2. 一部の章では分析対象の延伸が望ましい[[7]](#footnote-28)
   1. 最近10年ではなく、可能な限り遡るべき: 3章
   2. 経済関係は他国も含めるべき: 3章
3. 章間で統一性がない
   1. 各章: 質・量ともに不均一[[8]](#footnote-29)
      * 2倍量: 2、4章← 他章との差を縮めるべき
      * 明確に目的/結論がない: 序、3、4、5、7、8章
      * 問題意識や導入がない章がある: 「序章および各章」[[9]](#footnote-30)
      * 第4章: 図表合計=37
   2. 体裁(参考文献の記載・引用方法、固有名詞)の不統一[[10]](#footnote-31)
4. それ以前の推敲不足[[11]](#footnote-32)
5. 引用が明示的ではない
   1. 無断引用による著作権侵害の疑い[[12]](#footnote-33): 5、8章
   2. 原典が機関名のみ[[13]](#footnote-34): 3、4章

# 所感

## 判断

このまま研究会に送付

* 検討票の誤字脱字は検討者に修正依頼、修正完了

1. 検討者指摘の評価
   * 内容は正当
   * 対象・疑問は具体的
   * 表現は適切
2. 章を加えるべきという指摘はない
3. 先行文献との違いに関する指摘はない
   * 読者は先行文献を知りたいはず→ 「序章で言及があると良い」と分科会から伝えるか?

## 感想

* 意図は良いが実行が悪い研究成果
* 専門書として表現方法、内容ともに完成度の低い成果
  + これを検討者に検討させるのか
  + これを日英両言語で出版するのか
  + カタログ的内容なのに専門書としての和文単行書で良いのか
* 同一内容を4人に検討させるのは無駄
* 検討者の努力も濃淡がある
  + 特濃: 英検討者2(大幅加筆修正)
  + 濃: 日検討者2[[14]](#footnote-38)(大幅加筆修正)
  + 中: 日検討者1(大幅加筆修正)
  + 特淡: 英検討者1(了承)
    - どこまで真剣に検討したか疑問

1. こういう経緯でした、というカタログ的内容。なので、Research questionはなくても良いのでは? [↑](#footnote-ref-20)
2. 全検討者 [↑](#footnote-ref-23)
3. 英2、日1 [↑](#footnote-ref-24)
4. 英2 [↑](#footnote-ref-25)
5. 英2 [↑](#footnote-ref-26)
6. 日2 [↑](#footnote-ref-27)
7. 英2、日2 [↑](#footnote-ref-28)
8. 英2、日2 [↑](#footnote-ref-29)
9. 日1 [↑](#footnote-ref-30)
10. 英2、日1、日2 [↑](#footnote-ref-31)
11. 英2、日1、日2 [↑](#footnote-ref-32)
12. 日1「図表を個人で作成するようにお願いしたい」、英2 [↑](#footnote-ref-33)
13. 日1、日2 [↑](#footnote-ref-34)
14. 指摘の内容や対象が特定されていないこともあるが、すべて「B.任意」対応指定なので問題なし [↑](#footnote-ref-38)